

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-140532
(43)Date of publication of application : 17.05.2002

(51)Int.Cl. G06F 17/60
G06F 9/445
G06F 1/00
G06F 13/00

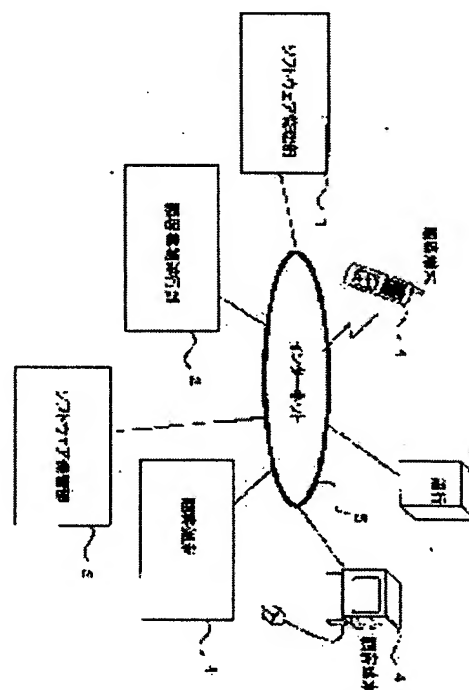
(21)Application number : 2000-331590 (71)Applicant : TOSHIBA ENG CO LTD
(22)Date of filing : 31.10.2000 (72)Inventor : OKANDA MAMORU
NATSUMURA ETSURO
FURUWATARI YOSHIKI
UCHIDA SHINAO
ISHIUCHI AKIHIKO

(54) SYSTEM AND METHOD FOR SELLING SOFTWARE, AND RECORDING MEDIUM STORED WITH PROGRAM FOR SELLING SOFTWARE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a software selling system which allows a customer to access a server 2 installed at a distant place, purchase the license of desired software from a customer terminal 4 through the internet 5, and install the software.

SOLUTION: This software selling system installs software in a specific area 211 on a server 2 that the customer terminal 4 connects to through the internet 5, and is equipped with a means 41 for specifying the software by the customer from the customer terminal, a means 12 which confirms conditions of the customer, and a means which installs the software that the customer specifies in the specific area on the server that the customer specifies.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]	01.11.2000
[Date of sending the examiner's decision of rejection]	29.07.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-140532

(P2002-140532A)

(43) 公開日 平成14年 5月17日 (2002. 5. 17)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	3 0 2	G 0 6 F 17/60	3 0 2 E 5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C 5 B 0 7 6
	1 4 2		1 4 2
	5 0 2		5 0 2
9/445		13/00	5 3 0 A
審査請求 有 請求項の数25 O L (全 25 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2000-331590(P2000-331590)

(22) 出願日 平成12年10月31日 (2000. 10. 31)

(71) 出願人 000221018

東芝エンジニアリング株式会社
神奈川県川崎市幸区堀川町66番2

(72) 発明者 大神田 守

神奈川県川崎市幸区堀川町66番2 東芝エ
ンジニアリング株式会社内

(72) 発明者 夏村 悦郎

神奈川県川崎市幸区堀川町66番2 東芝エ
ンジニアリング株式会社内

(72) 発明者 古渡 愛規

神奈川県川崎市幸区堀川町66番2 東芝エ
ンジニアリング株式会社内

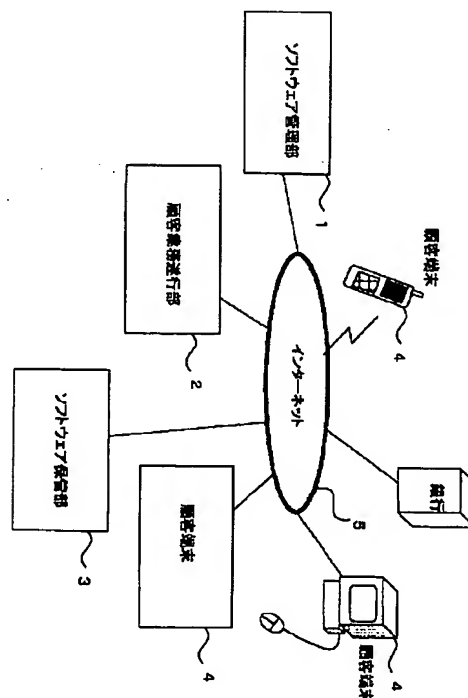
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ソフトウェア販売システム、ソフトウェア販売方法、ソフトウェア販売を行うためのプログラムを記憶した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、遠隔地に設置されたサーバー2に、顧客が顧客端末4からインターネット5を介して希望するソフトウェアのライセンスの購入及びインストールを行うことができるソフトウェア販売システムに関するものである。

【解決手段】 顧客端末4からインターネット5を介して接続されるサーバー2の特定領域211にソフトウェアをインストールするソフトウェア販売システムであって、顧客が前記顧客端末からソフトウェアを指定する手段41と、前記顧客の条件を確認する手段12と、前記顧客が指定したソフトウェアを、前記顧客の指定するサーバーの特定領域にインストールする手段を有することを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】顧客端末からインターネットを介して接続されるサーバーの特定領域にソフトウェアをインストールするソフトウェア販売システムであって、顧客が前記顧客端末からソフトウェアを指定する手段と、

前記顧客の条件を確認する手段と、

前記顧客が指定したソフトウェアを、前記顧客の指定するサーバーの特定領域にインストールする手段とを有することを特徴とするソフトウェア販売システム。

【請求項2】前記顧客端末から、前記インストール手段によりインストールしたソフトウェアのライセンス購入を要求する手段を有することを特徴とする請求項1に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項3】前記ライセンス購入要求を受けて前記顧客端末に支払い要求をする手段を有することを特徴とする請求項1乃至2に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項4】前記顧客の指定するサーバーの特定領域にインストールされたソフトウェアをアンインストールする手段を有することを特徴とする請求項1乃至3に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項5】ソフトウェア管理部と顧客業務遂行部とソフトウェア保管部及び顧客端末とを情報通信回線にて接続するソフトウェア販売システムであって、

前記ソフトウェア管理部には、

前記顧客端末からの要求を受け付ける要求受付手段と、

前記顧客の情報を管理する顧客情報管理手段と、

前記顧客端末からの要求と前記顧客情報を照合する照合手段と、

前記顧客端末に対して顧客が購入可能なソフトウェアを表示する手段と、

前記顧客端末からのインストール要求に基づき前記顧客業務遂行部に対してインストールを指示する手段と、

前記顧客端末からのソフトウェア購入要求に基づき前記顧客端末に対し、入金依頼通知を送付する手段とを有し、

前記顧客業務遂行部には、

前記顧客が業務を遂行する為に使用するハードウェア資源と、

前記ソフトウェア管理部からインストール指示があったソフトウェアを、前記ソフトウェア保管部に要求し受け取る手段と、

前記ハードウェア資源の特定領域に前記ソフトウェアをインストールする手段とを有し、

前記ソフトウェア保管部には、

前記顧客端末から購入可能なソフトウェア群と、

前記顧客業務遂行部から要求されたソフトウェアを前記ソフトウェア群から抽出する手段と、

前記ソフトウェアを前記顧客業務遂行部に送付するソフトウェア送付手段とを有し、

前記顧客端末には、

前記ソフトウェア管理部が表示したソフトウェアのうち、特定のソフトウェアを選択するソフトウェア選択手段と、

前記ソフトウェア選択手段により選択したソフトウェアにつき、前記ハードウェア資源の特定領域にインストールを要求する手段と、

前記選択手段により選択したソフトウェアのライセンスの購入を要求するソフトウェア購入要求手段とを有し、前記顧客端末から情報通信回線を介して、選択ソフトウェアのライセンスを購入し、前記選択ソフトウェアを前記顧客業務遂行部の特定領域にインストールを行う事ができるソフトウェア販売システム。

【請求項6】ソフトウェア管理部と顧客業務遂行部及び顧客端末とを情報通信回線にて接続し、

前記ソフトウェア管理部には、

前記顧客端末からの要求を受け付ける要求受付手段と、

前記顧客の情報を管理する顧客情報管理手段と、

前記顧客端末からの要求と前記顧客情報を照合する照合手段と、

前記顧客端末に対して顧客が購入可能なソフトウェアを表示する手段と、

前記顧客端末からのインストール要求に基づき前記顧客業務遂行部に対してインストールを指示する手段と、

前記顧客端末からのソフトウェア購入要求に基づき前記顧客端末に対し、入金依頼通知を送付する手段とを有し、

前記顧客業務遂行部には、

前記顧客が業務を遂行するために使用するハードウェア資源と、

前記顧客端末から購入可能なソフトウェア群と、

前記ソフトウェア管理部からインストール指示があったソフトウェアを、前記ソフトウェア群から抽出し、前記ハードウェア資源の特定領域にインストールする手段とを有し、

前記顧客端末には、

前記ソフトウェア管理部が表示したソフトウェアのうち、特定のソフトウェアを選択するソフトウェア選択手段と、

前記ソフトウェア選択手段により選択したソフトウェアにつき、前記ハードウェア資源の特定領域にインストールを要求する手段と、

前記選択手段により選択したソフトウェアのライセンスの購入を要求するソフトウェア購入要求手段とを有し、前記顧客端末から情報通信回線を介して、選択ソフトウェアのライセンスを購入し、前記選択ソフトウェアを前記顧客業務遂行部の特定領域にインストールを行う事ができるソフトウェア販売システム。

【請求項7】前記ソフトウェア管理部には、

前記顧客端末からのアンインストール要求に基づき前記

顧客業務遂行部に対してアンインストールを指示する手段とを有し、

前記顧客業務遂行部には、

前記ハードウェア資源の特定領域から前記ソフトウェアをアンインストールする手段とを有し、

前記顧客端末には、

前記ソフトウェア選択手段により選択したソフトウェアにつき、前記ハードウェア資源の特定領域からアンインストールを要求する手段とを有することを特徴とする請求項 5 乃至 6 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 8】前記ソフトウェア管理部に、購入要求をした前記顧客端末にライセンスキーを発行し送付する手段を有することを特徴とする請求項 5 乃至 7 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 9】前記顧客端末に、前記入金依頼通知に基づくソフトウェアの代金支払いを行う支払い手段を有することを特徴とする請求項 5 乃至 8 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 10】前記ソフトウェア管理部に、前記入金依頼通知に基づく前記顧客からの入金を確認する入金確認手段を有することを特徴とする請求項 5 乃至 9 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 11】前記ソフトウェア管理部に、前記特定領域に前記インストール手段によりソフトウェアをインストールした日から一定期間の試用を監視し、設定期間経過後に前記顧客端末にその旨の通知もしくは表示をする試用期間監視手段とを有することを特徴とする請求項 5 乃至 10 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 12】前記ソフトウェア管理部に、前記特定領域にインストールしたソフトウェアの使用禁止を行う使用禁止手段を有することを特徴とする請求項 5 乃至 11 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 13】前記ソフトウェア管理部に、前記顧客が購入可能なソフトウェアの情報を前記顧客端末に通知する情報通知手段を有することを特徴とする請求項 5 乃至 12 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 14】前記情報通知手段は、顧客が購入可能なソフトウェアのバージョンアップ情報を通知することを特徴とする請求項 13 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 15】前記特定領域は、サーバーの容量の一部を各顧客に割り当て、貸し出しを行う業務環境提供システムにおける各顧客の割り当てられた領域であることを特徴とする請求項 1 乃至 14 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 16】前記情報通信回線はインターネットであることを特徴とする請求項 5 乃至 15 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 17】前記顧客端末のソフトウェア選択手段と、インストール要求手段と、ソフトウェア購入要求手

段及び前記ソフトウェア管理部の要求受付手段と、ソフトウェア表示手段は、ウェブブラウザにより実現することを特徴とする請求項 5 乃至 16 に記載のソフトウェア販売システム。

【請求項 18】顧客端末からインターネットを介して接続されるサーバーの特定領域にソフトウェアをインストールをするソフトウェア販売方法であって、顧客がソフトウェアを選択するステップと、前記顧客の条件を確認するステップと、前記顧客が選択したソフトウェアを、前記顧客の指定するサーバーの特定領域にインストールするステップを有することを特徴とするソフトウェア販売方法。

【請求項 19】前記インストールしたソフトウェアのライセンス購入を要求するステップを有することを特徴とする請求項 18 に記載のソフトウェア販売方法。

【請求項 20】前記購入要求を受けて前記顧客に支払い要求をするステップとを有することを特徴とする請求項 19 に記載のソフトウェア販売方法。

【請求項 21】前記顧客が選択したソフトウェアを、前記顧客の指定するサーバーの特定領域からアンインストールするステップとを有することを特徴とする請求項 18 乃至 20 に記載のソフトウェア販売方法。

【請求項 22】顧客端末と情報通信回線を介して接続されたサーバーにソフトウェアの販売を行うシステムにおいて、

前記顧客端末からの要求を受け付ける要求受付機能と、前記顧客の情報を管理する顧客情報管理機能と、前記顧客端末からの要求と前記顧客情報を照合させる照合機能と、前記顧客端末に対して顧客が購入可能なソフトウェアを表示させる機能と、

前記顧客端末からのインストール要求に基づきインストールをさせる機能と、

前記顧客端末からのソフトウェア購入要求に基づき、前記顧客端末に対し入金依頼通知を送付する機能とを有するソフトウェアの販売を行なうためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 23】前記顧客端末からのアンインストール要求に基づき、アンインストールをさせる機能とを有することを特徴とする請求項 22 に記載のソフトウェアの販売を行うためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 24】顧客端末と情報通信回線を介して接続されたサーバーにソフトウェアの販売を行うシステムにおいて、

インストール指示があったソフトウェアを、前記ソフトウェア群から探す機能と、

前記サーバーの特定領域に前記ソフトウェアをインストールする機能とを有するソフトウェアの販売を行なうためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 25】前記サーバーの特定領域から前記ソフト

ウェアをアンインストールする機能とを有することを特徴とする請求項24に記載のソフトウェアの販売を行うためのプログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、遠隔地に設置されたサーバーに、顧客が顧客端末からインターネットを介して希望するソフトウェアのライセンスの購入及びインストールを行うことができるソフトウェア販売システムに関するものである。

【0002】さらに、インターネットに情報を発信するサーバーの容量の一部を間貸しするサービス（以下、ホスティングサービスという）において、顧客が顧客端末から遠隔地に設置されているサーバーの顧客割り当て領域に、希望するソフトウェアのインストールを行うことができるソフトウェア販売システムに関するものである。

【0003】

【従来の技術】従来、サーバーや回線などの設備を持たない小事業者は、社内での情報共有化を行うことができなかった。このような小事業者のために、近年、前述したホスティングサービスや、ビジネス用アプリケーションソフトをインターネットを通じて顧客にレンタルするサービス（以下、ASPサービスという）等が提供されている。

【0004】ホスティングサービスは、通常1台のサーバーを複数の顧客で共有する形で、顧客が使える容量の上限があらかじめ定められており、顧客はインターネットで配信したい情報をホスティングサービス事業者に渡して、サーバーでの公開をしてもらう。これにより設備を持たない小事業者でも、自社の情報をインターネットで公開することが可能となるというものである。

【0005】次にASPサービスでは、ASP（アプリケーションサービスプロバイダ）が保有するサーバーにインストールされたアプリケーションソフトを顧客がレンタルするもので、顧客はアプリケーションソフトのインストールの必要性やバージョンアップの心配がなく使用可能となるというものである。

【0006】いずれも小事業者にとっては有効なサービスであるが、ホスティングサービスで、顧客が新たなソフトウェアを使用したい場合は、ホスティングサービス提供者に、別途自らが購入したソフトウェアを渡してインストール処理をしてもらうか、あるいは、自らがホスティングサービス事業者の社屋に出向き、インストール処理を行わなければならなかった。また、インターネットを介して対象のソフトウェアを送信する場合は、セキュリティ保持の関係からホスティングサービス事業者のサーバーに一定のログイン名及びパスワード等でログインし、FTPプロトコル等のファイル転送処理を用いてサーバーに目的のソフトウェアとそのインストールプロ

グラムを転送しなければならず、更にその後、telnetプロトコル等の遠隔コマンド要求処理にて転送したインストールプログラムを動作させなければならなかった。新しく便利なソフトウェアが日々発売される今日において、このような方法ではかなり不便であった。

【0007】一方、ASPサービスは、新しく便利なソフトウェアをレンタルすることができるため、小事業者にとっては大変有効なサービスではあるが、ASPサービスでレンタルを行えるソフトウェアはASPサービス用に販売されているソフトウェアに限られるという問題があった。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、顧客が希望するソフトウェアのライセンス購入及びインストールを、インターネット上で容易に実現できることを目的としている。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、この発明の第1のソフトウェア販売システムは、顧客端末からインターネットを介して接続されるサーバーの特定領域にソフトウェアをインストールするソフトウェア販売システムであって、顧客が前記顧客端末からソフトウェアを指定する手段と、前記顧客の条件を確認する手段と、前記顧客が指定したソフトウェアを、前記顧客の指定するサーバーの特定領域にインストールする手段とを有することを特徴とする。

【0010】上記の目的を達成するために、この発明の第2のソフトウェア販売システムは、前記顧客端末から、前記インストール手段によりインストールしたソフトウェアのライセンス購入を要求する手段を有することを特徴とする。

【0011】上記の目的を達成するために、この発明の第3のソフトウェア販売システムは、前記ライセンス購入要求を受けて前記顧客端末に支払い要求をする手段を有することを特徴とする。

【0012】上記の目的を達成するために、この発明の第4のソフトウェア販売システムは、前記顧客の指定するサーバーの特定領域にインストールされたソフトウェアをアンインストールする手段を有することを特徴とする。

【0013】上記の目的を達成するために、この発明の第5のソフトウェア販売システムは、ソフトウェア管理部と顧客業務遂行部とソフトウェア保管部及び顧客端末とを情報通信回線にて接続するソフトウェア販売システムであって、前記ソフトウェア管理部には、前記顧客端末からの要求を受け付ける要求受付手段と、前記顧客の情報を管理する顧客情報管理手段と、前記顧客端末からの要求と前記顧客情報を照合する照合手段と、前記顧客端末に対して顧客が購入可能なソフトウェアを表示する手段と、前記顧客端末からのインストール要求に基づき

前記顧客業務遂行部に対してインストールを指示する手段と、前記顧客端末からのソフトウェア購入要求に基づき前記顧客端末に対し、入金依頼通知を送付する手段とを有し、前記顧客業務遂行部には、前記顧客が業務を遂行する為に使用するハードウェア資源と、前記ソフトウェア管理部からインストール指示があったソフトウェアを、前記ソフトウェア保管部に要求し受け取る手段と、前記ハードウェア資源の特定領域に前記ソフトウェアをインストールする手段とを有し、前記ソフトウェア保管部には、前記顧客端末から購入可能なソフトウェア群と、前記顧客業務遂行部から要求されたソフトウェアを前記ソフトウェア群から抽出する手段と、前記ソフトウェアを前記顧客業務遂行部に送付するソフトウェア送付手段とを有し、前記顧客端末には、前記ソフトウェア管理部が表示したソフトウェアのうち、特定のソフトウェアを選択するソフトウェア選択手段と、前記ソフトウェア選択手段により選択したソフトウェアにつき、前記ハードウェア資源の特定領域にインストールを要求する手段と、前記選択手段により選択したソフトウェアのライセンスの購入を要求するソフトウェア購入要求手段とを有し、前記顧客端末から情報通信回線を介して、選択ソフトウェアのライセンスを購入し、前記選択ソフトウェアを前記顧客業務遂行部の特定領域にインストールを行う事ができる。

【0014】上記の目的を達成するために、この発明の第6のソフトウェア販売システムは、ソフトウェア管理部と顧客業務遂行部及び顧客端末とを情報通信回線にて接続し、前記ソフトウェア管理部には、前記顧客端末からの要求を受け付ける要求受付手段と、前記顧客の情報を管理する顧客情報管理手段と、前記顧客端末からの要求と前記顧客情報を照合する照合手段と、前記顧客端末に対して顧客が購入可能なソフトウェアを表示する手段と、前記顧客端末からのインストール要求に基づき前記顧客業務遂行部に対してインストールを指示する手段と、前記顧客端末からのソフトウェア購入要求に基づき前記顧客端末に対し、入金依頼通知を送付する手段とを有し、前記顧客業務遂行部には、前記顧客が業務を遂行するために使用するハードウェア資源と、前記顧客端末から購入可能なソフトウェア群と、前記ソフトウェア管理部からインストール指示があったソフトウェアを、前記ソフトウェア群から抽出し、前記ハードウェア資源の特定領域にインストールする手段とを有し、前記顧客端末には、前記ソフトウェア管理部が表示したソフトウェアのうち、特定のソフトウェアを選択するソフトウェア選択手段と、前記ソフトウェア選択手段により選択したソフトウェアにつき、前記ハードウェア資源の特定領域にインストールを要求する手段と、前記選択手段により選択したソフトウェアのライセンスの購入を要求するソフトウェア購入要求手段とを有し、前記顧客端末から情報通信回線を介して、選択ソフトウェアのライセンスを

購入し、前記選択ソフトウェアを前記顧客業務遂行部の特定領域にインストールを行う事ができるソフトウェア販売システム。

【0015】上記の目的を達成するために、この発明の第7のソフトウェア販売システムは、前記ソフトウェア管理部には、前記顧客端末からのアンインストール要求に基づき前記顧客業務遂行部に対してアンインストールを指示する手段とを有し、前記顧客業務遂行部には、前記ハードウェア資源の特定領域から前記ソフトウェアをアンインストールする手段とを有し、前記顧客端末には、前記ソフトウェア選択手段により選択したソフトウェアにつき、前記ハードウェア資源の特定領域からアンインストールを要求する手段とを有することを特徴とする。

【0016】上記の目的を達成するために、この発明の第8のソフトウェア販売システムは、前記ソフトウェア管理部に、購入要求をした前記顧客端末にライセンスキーを発行し送付する手段を有することを特徴とする。

【0017】上記の目的を達成するために、この発明の第9のソフトウェア販売システムは、前記顧客端末に、前記入金依頼通知に基づくソフトウェアの代金支払いを行う支払い手段を有することを特徴とする。

【0018】上記の目的を達成するために、この発明の第10のソフトウェア販売システムは、前記ソフトウェア管理部に、前記入金依頼通知に基づく前記顧客からの入金を確認する入金確認手段を有することを特徴とする請求項5乃至9に記載のソフトウェア販売システム。

【0019】上記の目的を達成するために、この発明の第11のソフトウェア販売システムは、前記ソフトウェア管理部に、前記特定領域に前記インストール手段によりソフトウェアをインストールした日から一定期間の試用を監視し、設定期間経過後に前記顧客端末にその旨の通知もしくは表示をする試用期間監視手段とを有することを特徴とする請求項5乃至10に記載のソフトウェア販売システム。

【0020】上記の目的を達成するために、この発明の第12のソフトウェア販売システムは、前記ソフトウェア管理部に、前記特定領域にインストールしたソフトウェアの使用禁止を行う使用禁止手段を有することを特徴とする。

【0021】上記の目的を達成するために、この発明の第13のソフトウェア販売システムは、前記ソフトウェア管理部に、前記顧客が購入可能なソフトウェアの情報を前記顧客端末に通知する情報通知手段を有することを特徴とする。

【0022】上記の目的を達成するために、この発明の第14のソフトウェア販売システムは、前記情報通知手段は、顧客が購入可能なソフトウェアのバージョンアップ情報を通知することを特徴とする。

【0023】上記の目的を達成するために、この発明の

第15のソフトウェア販売システムは、前記特定領域は、サーバーの容量の一部を各顧客に割り当て、貸し出しを行う業務環境提供システムにおける各顧客の割り当てられた領域であることを特徴とする。

【0024】上記の目的を達成するために、この発明の第16のソフトウェア販売システムは、前記情報通信回線はインターネットであることを特徴とする。

【0025】上記の目的を達成するために、この発明の第17のソフトウェア販売システムは、前記顧客端末のソフトウェア選択手段と、インストール要求手段と、ソフトウェア購入要求手段及び前記ソフトウェア管理部の要求受付手段と、ソフトウェア表示手段は、ウェブブラウザにより実現することを特徴とする。

【0026】上記の目的を達成するために、この発明の第18のソフトウェア販売方法は、顧客端末からインターネットを介して接続されるサーバーの特定領域にソフトウェアをインストールをするソフトウェア販売方法であって、顧客がソフトウェアを選択するステップと、前記顧客の条件を確認するステップと、前記顧客が選択したソフトウェアを、前記顧客の指定するサーバーの特定領域にインストールするステップを有することを特徴とする。

【0027】上記の目的を達成するために、この発明の第19のソフトウェア販売方法は、前記インストールしたソフトウェアのライセンス購入を要求するステップを有することを特徴とする。

【0028】上記の目的を達成するために、この発明の第20のソフトウェア販売方法は、前記購入要求を受けて前記顧客に支払い要求をするステップとを有することを特徴とする。

【0029】上記の目的を達成するために、この発明の第21のソフトウェア販売方法は、前記顧客が選択したソフトウェアを、前記顧客の指定するサーバーの特定領域からアンインストールするステップとを有することを特徴とする。

【0030】上記の目的を達成するために、この発明の第22のソフトウェアの販売を行なうためのプログラムを記録した記録媒体は、顧客端末と情報通信回線を介して接続されたサーバーにソフトウェアの販売を行うシステムにおいて、前記顧客端末からの要求を受け付ける要求受付機能と、前記顧客の情報を管理する顧客情報管理機能と、前記顧客端末からの要求と前記顧客情報を照合させる照合機能と、前記顧客端末に対して顧客が購入可能なソフトウェアを表示させる機能と、前記顧客端末からのインストール要求に基づきインストールをさせる機能と、前記顧客端末からのソフトウェア購入要求に基づき、前記顧客端末に対し入金依頼通知を送付する機能とを有する。

【0031】上記の目的を達成するために、この発明の第23のソフトウェアの販売を行なうためのプログラム

を記録した記録媒体は、前記顧客端末からのアンインストール要求に基づき、アンインストールをさせる機能とを有することを特徴とする。

【0032】上記の目的を達成するために、この発明の第24のソフトウェアの販売を行なうためのプログラムを記録した記録媒体は、顧客端末と情報通信回線を介して接続されたサーバーにソフトウェアの販売を行うシステムにおいて、インストール指示があったソフトウェアを、前記ソフトウェア群から探す機能と、前記サーバーの特定領域に前記ソフトウェアをインストールする機能とを有する。

【0033】上記の目的を達成するために、この発明の第25のソフトウェアの販売を行なうためのプログラムを記録した記録媒体は、前記サーバーの特定領域から前記ソフトウェアをアンインストールする機能とを有することを特徴とする。

【0034】

【発明の実施の形態】図1及び図2は、本発明の一実施形態を示す構成図である。本発明のソフトウェア販売システムは、図1に示すように、顧客からのソフトウェアのインストール要求及び購入要求を受けてインストール指示及び購入手続きを行うソフトウェア管理部1と、顧客の業務を遂行するサーバーである顧客業務遂行部2と、顧客が購入可能なソフトウェア群を保管するソフトウェア保管部3及び少なくとも1以上の顧客端末4からなり、これらをインターネット5等の情報通信回線にて接続する。

【0035】各々の構成は図2に示すとおりである。ソフトウェア管理部1には、顧客端末4からの要求を受け付ける要求受付手段11と、顧客の情報が格納されている顧客情報データベース及びこの顧客情報を管理する顧客情報管理手段12と、顧客端末4からの要求と顧客情報データベースとを照合する照合手段13と、顧客端末4に対して顧客端末4から購入可能なソフトウェアを表示するソフトウェア表示手段14と、顧客端末4からの要求に基づき、顧客業務遂行部2に対してインストールを指示するインストール指示手段15と、顧客端末4からの要求に基づき、顧客業務遂行部2に対してアンインストールを指示するアンインストール指示手段16と、購入要求のあった顧客端末4に対し入金依頼書を送付する入金依頼通知手段17と、顧客端末4からの入金を確認する入金確認手段18と、顧客端末4に対しライセンスキーを発行し送付するライセンスキー発行手段19と、試用期間付きソフトウェアの場合に試用期間を監視する試用期間監視手段1Aと、試用期間経過後の顧客に対し使用を禁止させる使用禁止手段1Bと、顧客端末4に対し各種情報を通知する情報通知手段1Cとを有している。

【0036】顧客業務遂行部2には、ハードウェア資源21(211~213)と、ソフトウェア管理部1のイ

インストール指示手段15より指示のあったソフトウェアをソフトウェア保管部3に要求し受け取るソフトウェア受取手段22と、受け取ったソフトウェアをハードウェア資源21の特定領域211にインストールするインストール手段23と、既にインストール済みのソフトウェアのうち、ソフトウェア管理部1のアンインストール指示手段16により指示のあったソフトウェア2111を該当する領域211からアンインストールするアンインストール手段24とを有している。

【0037】ソフトウェア保管部3には、顧客端末4から購入可能に用意しているソフトウェア群31と、顧客業務遂行部2のソフトウェア受取手段22から要求のあったソフトウェア311をソフトウェア群31から抽出するソフトウェア抽出手段と、この抽出したソフトウェア311を顧客業務遂行部2に送付するソフトウェア送付手段33とを有している。

【0038】顧客端末4には、ソフトウェア管理部1が表示した購入可能ソフトウェアのうち、希望するソフトウェアを選択するソフトウェア選択手段41と、選択したソフトウェアのインストールを要求する手段42と、既にインストールされているソフトウェアのアンインストールを要求する手段43と、正式に購入を要求する購入要求手段44と、ソフトウェアの代金支払いを行う支払い手段45とを有している。

【0039】図3乃至図6は本発明の他の実施の形態を示す図である。図3は、図2のソフトウェア管理部1及び顧客端末4は同じ構成であるが、顧客業務遂行部2の構成が異なるものである。図3においては、顧客業務遂行部2の中にソフトウェア群31を保有する構成とする。このため、図1の構成にて存在するソフトウェア保管部3及びソフトウェア保管部3内ソフトウェア抽出手段32、ソフトウェア送付手段33が不要となる。

【0040】図4は、図2のソフトウェア管理部1及び顧客業務遂行部2を一体化させた構成であり、ソフトウェア管理部1、顧客業務遂行部2、ソフトウェア保管部3、顧客端末4の各々の構成は図2と同様である。

【0041】図5は、図3のソフトウェア管理部1と顧客業務遂行部2を一体化させた構成であり、ソフトウェア管理部1、顧客業務遂行部2、顧客端末4の各々の構成は図3と同様である。

【0042】図6は、図2もしくは図4のソフトウェア保管部3を分散化させた構成であり、各ソフトウェアは、各ソフトウェアの製造元が自社サーバーに保有する。例えば、ソフトウェアXは、ソフトウェアハウスBのサーバー301に、画像・映像・音楽などのコンテンツファイルYは、コンテンツ販売業者のサーバー302に、シェアウェアZは、シェアウェア提供者のサーバー303に保有されており、顧客業務遂行部2のソフトウェア要求受取手段22からの要求に基づき、各々自サーバー内の対象ソフトウェアを抽出し、送信するものであ

る。図6においては、ソフトウェア管理部1と顧客業務遂行部2が各々情報通信回線を介して接続された構成としているが、図4のように一体化させた構成でも同様に実現可能である。

【0043】次に、図7乃至11図を用いて、本発明のソフトウェア販売システムにて使用する顧客情報データベースについて説明する。

【0044】図7は、顧客情報データベースのテーブル関係を示す図である。顧客情報データベースのテーブルには、ライセンス管理テーブル71、契約管理テーブル72、顧客担当者テーブル73、顧客会社テーブル74が存在する。以下に各々のテーブルについて詳細に説明する。

【0045】図8は、ライセンス管理テーブル71の構成を示す図である。ライセンス管理テーブル71は、管理連番81、契約管理コード82、試用開始日83、状況84、ユーザ数85、OS／機種86、IPアドレス87、ディレクトリ88、許可コード89、ライセンスキー8A、ライセンス証書番号8Bにて構成する。管理連番81は、自動的に付与されるシーケンシャルな番号であり、例えば2000-0001のような番号である。契約管理コード82は、購入要求があると自動的に付与されるシーケンシャルな番号であり、例えばK0001のような番号である。この契約管理コード82は後述する契約管理テーブル72との連結キーとなる。試用期間開始日83とは、無償試用期間を設定しているソフトウェアの場合に有効となるもので、例えばインストール完了日が格納される。

【0046】状況84とは、顧客の現在の状況を示す情報であり、例えば「1」は、顧客領域にインストールが完了している段階、「2」は、顧客から購入要求をしてきた段階、「3」は、顧客にライセンスキーを発行した段階、「U」は、アンインストール要求している段階を意味する。

【0047】ユーザ数85とは、購入ソフトウェアのユーザ数を意味する。例えば、企業内LANを活用して情報共有やコミュニケーションの効率化を図るためのソフトウェアであるグループウェアなどの場合、ユーザ数は、その顧客の規模により異なる。このような場合に顧客が指定するユーザ数である。OS／機種86とは、顧客が顧客業務遂行部2の特定領域で使用しているOS／機種名である。IPアドレス87は、顧客が使用する顧客業務遂行部2の特定領域のIPアドレスである。ディレクトリ88は、顧客業務遂行部2の領域内のインストールしたいディレクトリを意味する。初期設定がされているが、顧客が自由に設定することが可能である。許可コード89とは、入金の有無により使用を制限させるためのコードであり、例えば「0」はOK、「1」はNGを意味するものである。ライセンスキー8Aとは、ソフトウェアを正式に使用するためのキーであり、例えば、

「LPETY////*」・・・・」のような判別不可能な半角英数字列である。ライセンス証書番号8Bとは、ライセンス証書を発行する場合に付与されるライセンス証書番号である。

【0048】図9は、契約管理テーブル72の構成を示す図である。契約管理テーブル72は、契約管理コード82、受付日91、顧客担当者コード92、支払い方法93、支払い管理システムキー94にて構成する。契約管理コード82は前述の通りであり、受付日91は、購入要求を受け付けた日である。顧客担当者コード92は、購入要求があると自動的に付与されるシーケンシャルな番号であり、例えばT0001のような番号である。この顧客担当者コード92は後述する顧客担当者テーブル73との連結キーとなる。支払方法93とは、顧客が購入ソフトウェアの代金を支払い方法を意味する情報であり、例えば、「E」は電子商取引である場合、「C」はクレジットカード払いである場合、「P」は請求書払いである場合を意味する。支払い管理システムキー94とは、支払いの有無を管理し、例えば「1」は支払い完了を、「0」は未払いを意味する。これらのデータは、本システムにて詳細な説明は行わないが、例えば、インターネットを介した銀行など、他の電子商取引システムなどで確認したデータをリンクするなどして実現する。本テーブルは、1人の顧客担当者がソフトウェアの購入を複数担当していれば、契約管理テーブルの複数のレコードから参照されることになる。

【0049】図10は、顧客担当者テーブル73の構成を示す図である。顧客担当者テーブル73は、顧客担当者コード93、顧客会社コード101、部署、担当、TEL、FAX、E-mailにて構成する。顧客担当者コード101は前述の通りであり、顧客会社コード102は、購入要求があると自動的に付与されるシーケンシャルな番号であり、例えばC0001のような番号である。この顧客会社コード101は後述する顧客会社テーブル74との連結キーとなる。その他の項目は、顧客の購入窓口担当者の氏名、連絡先である。

【0050】図11は顧客会社テーブル74の構成を示す図である。顧客会社テーブル74は、顧客会社コード、会社名、郵便番号、住所にて構成する。顧客会社コード101は前述の通りであり、その他の項目は、顧客会社の連絡先である。本テーブルは、1つの顧客会社がソフトウェアの購入を複数行っていれば、顧客担当者テーブルの複数のレコードから参照されることになる。

【0051】図12(a)乃至(i)は、顧客端末4から例えばウェブブラウザにて表示する画面表示例である。(a)は、顧客が管理メニューにログインする際の表示画面例である。(b)は購入可能なソフトウェアの表示画面例である。(c)は、「グループウェア△△」を選択した場合に表示される選択表示画面例である。

(d)は、「グループウェア△△」のインストール指示

画面例である。(e)は、「グループウェア△△」の購入要求手続き用の表示画面例である。(f)は、「グループウェア△△」のアンインストール指示画面例である。(g)は、「グループウェア△△」の起動画面例(1)である。(h)は、「グループウェア△△」の起動画面例(2)である。(i)は、ソフトウェア情報の通知例であり、顧客情報データベースからの顧客のインストール履歴及び購入履歴に基づき、各種情報を通知するものである。

【0052】次に、図3及び図12、図13を用いて、ホスティングサービス契約を行っている顧客Aが、ホスティングサービス事業者のサーバー（顧客業務遂行部2）内の顧客Aが契約している領域211の希望部分2111に、希望するソフトウェア「グループウェア△△」のインストールとライセンスの購入を行う場合の処理について説明する。

【0053】まず第一に、顧客は、顧客端末4からインターネット5を介して、ソフトウェア管理部1の管理メニューにログインする(s1)。

【0054】このときの画面表示は例えば、図12(a)のようにログイン名及び初期パスワードを要求する。この画面から顧客はログイン名及びパスワードをインプットする。

【0055】ログインが完了すると(s2)、ソフトウェア管理部1では顧客に対し購入可能なソフトウェア一覧を表示する(s3)。このときの画面表示は例えば、図12(b)に示すようなものであり、ワープロソフト〇〇、表計算ソフト、グループウェア△△△等のように、本販売システムから購入可能なソフトウェア名を表示する。

【0056】この一覧の中から、顧客は興味のあるソフトウェア名「グループウェア△△」を選択する。このときの画面表示は例えば、図12(c)に示すように、「グループウェア△△」の情報及び「インストール要求ボタン」、「購入要求ボタン」、「アンインストール要求ボタン」等が表示される。

【0057】この場合のソフトウェア情報とは、例えば、「グループウェア△△」についての商品紹介、本システムから購入する場合の価格紹介及び製造元名称等を意味する。この画面から、ソフトウェア製造元が提供する製品広告用のホームページにリンクしても構わない。

【0058】この画面から、顧客はインストール要求ボタンを選択する。インストール要求ボタンを選択すると、例えば、図12(d)に示すようにインストール要求画面が表示される。インストール要求画面には、インストールする旨の表示及び無償試用期間、例えば「60日間」を表示し、顧客のOS/機種、IPアドレス、ディレクトリのインプットを促す。ここで、顧客はOS/機種として「Windows NT00」、IPアドレスとして「1234.56.78.902」、ディレクト

りとして「Program Files」、のインプットをする。

【0059】これらのインプット完了後に、インストールOKボタンを選択すると、顧客端末4のインストール要求手段42から、インターネット5を介して、ソフトウェア管理部1にインストール要求が通知される(s4)。ソフトウェア管理部1の要求受付手段11がこの通知を受け取ると(s5)、顧客情報管理手段12は、顧客情報データベース内のライセンス管理テーブル71に新規レコードを生成し(s6)、管理連番81として「2000-0002」、状況84「0」、OS/機種86「WindowsNT00」、IPアドレス87「1234.56.78.902」、ディレクトリ88「Program Files」を格納し、顧客業務遂行部2にインストール指示を通知する(s7)。

【0060】このインストール指示を受けた顧客業務遂行部2は、ソフトウェア群31の中から「グループウェア△△」311を探し、顧客Aに割り当てられた領域211の指定ディレクトリ「Program Files」2111下に、「グループウェア△△」をインストールする(s8)。インストールを行った顧客業務遂行部2は、顧客端末4及びソフトウェア管理部1にインストール完了通知を行う(s9)。

【0061】インストール完了通知を受け取ったソフトウェア管理部1の顧客情報管理手段12は、顧客情報データベース内のライセンス管理テーブル71の該当レコードの状況84に「1」を、試用開始日83としてインストールした日を格納する(s10)。このインストール完了日を元に、ソフトウェア管理部1内試用期間監視手段1Aによる監視が開始する(s11)。この後、顧客Aは「グループウェア△△」の試用を行う(s12)。

【0062】次に、顧客Aは、「グループウェア△△」のライセンスを購入するため、図12(c)の画面表示の購入手続きボタンを選択する(s13)。購入手続きボタンを選択すると、図12(e)の画面表示「グループウェア△△の購入手続き画面」が表示される。この購入手続き要求画面には、ソフトウェアライセンスを購入する旨を表示し、顧客の会社名、部署、担当者名、電話番号、FAX、E-mailアドレス、郵便番号、住所のインプットを促す。ここで、顧客は会社名として「株式会社〇×」、部署として「営業部」、担当者名として「鈴木」、電話番号として「03-1234-5678」、FAXとして「03-1234-5679」、E-mailアドレスとして「1234@1234.co.jp」をインプットする。これらのインプット完了後に、購入OKボタンを選択すると、顧客端末4の購入要求手段44からインターネット5を介してソフトウェア管理部1の要求受付手段11で要求受付を行う(s14)。購入要求を受け付けると、ソフトウェア管理部1

の顧客情報管理手段12は、顧客情報データベース内のライセンス管理テーブル71の該当レコードの状況84の「1」(意味：インストール完了)を「2」(意味：購入要求)に変更する。更に、契約管理テーブル72と、顧客担当者テーブル73と、顧客会社テーブル74に新規レコードを生成する。

【0063】契約管理テーブル72には、契約管理コード82として「K0003」、受付日91として、購入要求を受け付けた日「2000-10-1」と、顧客担当者コード92として「T0001」、支払い方法93として「P」(意味：請求書払い)を格納する。顧客担当者テーブル73には、顧客担当者コード92として「T0001」、顧客会社コード101として「C0001」、部署として「営業部」、担当として「鈴木」、TELとして「03-1234-5678」FAXとして「03-1234-5679」、E-mailとして「1234@1234.co.jp」を格納する。顧客会社テーブル74には、顧客会社コード101として「C0001」、会社名として「株式会社〇×」、〒として「100-0001」住所として「東京都千代田区〇〇1-1-1」を格納する(s15)。これらのレコード生成の際に、顧客担当者テーブル73内に、既に同一の顧客担当者が登録されている場合は、既に存在する顧客担当者コード92を契約管理テーブル72の顧客担当者コードに格納する。また、顧客担当者は同一ではないが、顧客会社テーブル内に、既に同一の顧客会社が登録されている場合は、既に存在する顧客会社コード101を顧客担当者テーブル73の顧客会社コード101に格納する。

【0064】次に、ソフトウェア管理部1のライセンスキー発行手段19が、ライセンスキーの発行を行い、ライセンス管理テーブル71内ライセンスキー8Aに格納すると同時に、顧客端末4にライセンスキーの送信を行う(s16)。この後、顧客は顧客端末4から「グループウェア△△」を起動し、例えば図12(g)に示すような画面にて、ライセンスキーの設定を行う(s17)。ライセンスキーが設定されると、顧客業務遂行部2内グループウェア△△は、ソフトウェア管理部1に設定されたライセンスキーを通知し、確認要求をする(s18)。確認要求されたライセンスキーは照合手段13により、該当する顧客Aのライセンステーブル71に格納されているライセンスキー8Aとの照合を行う(s19)。照合が合致すると、ソフトウェア管理部1の試用期間監視手段1Aは、監視を終了し(s20)、インターネット5を介して顧客端末4に入金依頼通知手段17により、請求書を発行し送付する(s21)。顧客Aは送付された請求書に基づき、支払い手段45にて、ソフトウェア代金の支払いを行い(s22)、顧客Aからの支払い通知を受けたソフトウェア管理部1の入金確認手段18は、入金情報の確認を行う(s23)。

【0065】以上のように、顧客Aは、インターネットを介した顧客端末から、ホスティングサービス事業者のサーバー（顧客業務遂行部2）内の顧客Aが契約している領域211の希望部分2111に、希望するソフトウェア「グループウェア△△」のインストールとライセンスの購入を行うことができる。

【0066】次に、図3及び図12、図14を用いて、ホスティングサービス契約を行っている顧客Aが、試用期間内に購入要求をしない場合の処理について説明する。ソフトウェア管理部1の試用期間監視手段1Aにより、試用期間の経過が確認されると、使用期間監視手段1Aによる監視を終了する（s1）。

【0067】この後、顧客Aは、「グループウェア△△」を起動すると（s2）、顧客業務遂行部2内グループウェア△△は、ソフトウェア管理部1にライセンスキー確認要求をする（s3）。照合手段13により、ライセンスキーが存在しないことを確認後、顧客業務遂行部2内グループウェア△△に使用を禁止する旨の通知をする（s4）。顧客業務遂行部2では図12（h）に示すような画面にて顧客Aに試用期間が経過した旨を表示する（s5）。

【0068】次に、図3及び図12、図15を用いて、ホスティングサービス契約を行っている顧客Aが、ホスティングサービス事業者のサーバー（顧客業務遂行部2）内の顧客Aが契約している領域211の希望部分2111に、インストールしたソフトウェア「グループウェア△△」のアンインストールを行う場合の処理について説明する。顧客は、顧客端末4からインターネット5を介して、ソフトウェア管理部1の管理メニューにログインする（s1）。このときの画面表示は例えば、図12（a）のようにログイン名及び初期パスワードを要求する。この画面から顧客はログイン名及びパスワードをインプットする。

【0069】ログインが完了すると（s2）、ソフトウェア管理部1では顧客に対し購入可能なソフトウェア一覧を表示する（s3）。このときの画面表示は例えば、図12（b）に示すようなものであり、ワープロソフト〇〇、表計算ソフト、グループウェア△△△等のように、本販売システムから購入可能なソフトウェア名を表示する。この一覧の中から、顧客はアンインストールしたいソフトウェア名「グループウェア△△」を選択する。このときの画面表示は例えば、図12（c）に示すように、「グループウェア△△」の情報及び「インストール要求ボタン」、「購入要求ボタン」、「アンインストール要求ボタン」等が表示される。

【0070】この画面から、顧客はアンインストール要求ボタンを選択する。アンインストール要求ボタンを選択すると、例えば、図12（f）に示すようにアンインストール要求画面が表示される。アンインストール要求画面には、アンインストールする旨及び試用期間に作成

されたデータ全てが削除される旨を表示し、管理連番「2000-000x」、顧客のOS／機種「Linux00」、IPアドレス「1234.56.78.902」、ディレクトリ「Program files」を表示する。表示を確認後、アンインストールOKボタンを選択すると、顧客端末4のアンインストール要求手段43から、インターネットを介して、ソフトウェア管理部1にアンインストール要求が通知される（s4）。ソフトウェア管理部1の要求受付手段11がこの通知を受け取ると（s5）、顧客情報管理手段12は、顧客情報データベース内のライセンス管理テーブル71内を照合手段13にて照合し（s6）、該当レコード内の「契約管理コード」「状況」「IPアドレス」「ディレクトリ」「ライセンスキー」「ライセンス証書番号」を確認し、アンインストール指示の正当性と、アンインストールする領域確認を行い、アンインストール指示手段16にて、顧客業務遂行部2にアンインストール指示を通知する（s7）。

【0071】このアンインストール指示を受けた顧客業務遂行部2は、顧客Aに割り当てられた領域211内の、グループウェア△△を探し、アンインストール手段24にて、アンインストールする（s8）。アンインストールを行った顧客業務遂行部2は、顧客端末4及びソフトウェア管理部1にアンインストール完了通知を行う（s9）。

【0072】アンインストール完了通知を受け取ったソフトウェア管理部1の顧客情報管理手段12は、顧客情報データベース内のライセンス管理テーブル71の該当レコードの状況84に「U」を格納し更新する（s10）。

【0073】以上のように、顧客Aは、インターネットを介した顧客端末から、ホスティングサービス事業者のサーバー（顧客業務遂行部2）内の顧客Aが契約している領域211の希望部分2111に、インストールされている「グループウェア△△」のアンインストールを行うことができる。

【0074】次に、図3及び図12、図16、図17を用いて、購入要求を行った後に支払処理を行わない場合の処理について説明する。インストールを行った顧客業務遂行部2は、顧客端末4及びソフトウェア管理部1にインストール完了通知を行う（s1）。インストール完了通知を受け取ったソフトウェア管理部1の顧客情報管理手段12は、顧客情報データベース内のライセンス管理テーブル71の該当レコードの状況84に「1」を、試用開始日83としてインストールした日を、許可コード89に「0」（意味：OK）を格納する（s2）。このインストール完了日を元に、ソフトウェア管理部1内試用期間監視手段1Aによる監視が開始する（s3）。この後、顧客Aは「グループウェア△△」の試用を行う（s4）。

【0075】起動されたグループウェア△△は、ソフトウェア管理部1に許可コード89の確認要求を行なう(s5)。ソフトウェア管理部1の照合手段が、許可コード89の確認及び照合を行なう(s6)。この場合、許可コード89は「0」である為、使用OKである旨をグループウェア△△に通知する(s7)。

【0076】次に、顧客Aは、「グループウェア△△」のライセンスを購入するため、図12(c)の画面表示の購入手続きボタンを選択する(s8)。購入手続きボタンを選択すると、図12(e)の画面表示「グループウェア△△の購入手続き画面」が表示される。この購入手続き要求画面には、ソフトウェアライセンスを購入する旨を表示し、顧客の会社名、部署、担当者名、電話番号、FAX、E-mailアドレス、郵便番号、住所のインプットを促す。ここで、顧客は会社名として「株式会社〇×」、部署として「営業部」、担当者名として「鈴木」、電話番号として「03-1234-5678」、FAXとして「03-1234-5679」、E-mailアドレスとして「1234@1234.co.jp」をインプットする。これらのインプット完了後に、購入OKボタンを選択すると、顧客端末4の購入要求手段44からインターネット5を介してソフトウェア管理部1の要求受付手段11で要求受付を行う(s9)。購入要求を受け付けると、ソフトウェア管理部1の顧客情報管理手段12は、顧客情報データベース内のライセンス管理テーブル71の該当レコードの状況84の「1」(意味：インストール完了)を「2」(意味：購入要求)に変更する。更に、契約管理テーブル72と、顧客担当者テーブル73と、顧客会社テーブル74に新規レコードを生成する。

【0077】契約管理テーブル72には、契約管理コード82として「K0003」、受付日91として、購入要求を受け付けた日「2000-10-1」と、顧客担当者コード92として「T0001」、支払い方法93として「P」(意味：請求書払い)を格納する。顧客担当者テーブル73には、顧客担当者コード92として「T0001」、顧客会社コード101として「C0001」、部署として「営業部」、担当として「鈴木」、TELとして「03-1234-5678」FAXとして「03-1234-5679」、E-mailとして「1234@1234.co.jp」を格納する。顧客会社テーブル74には、顧客会社コード101として「C0001」、会社名として「株式会社〇×」、〒として「100-0001」住所として「東京都千代田区〇〇1-1-1」を格納する(s10)。

【0078】これらのレコード生成の際に、顧客担当者テーブル73内に、既に同一の顧客担当者が登録されている場合は、既に存在する顧客担当者コード92を契約管理テーブル72の顧客担当者コードに格納する。また、顧客担当者は同一ではないが、顧客会社テーブル内

に、既に同一の顧客会社が登録されている場合は、既に存在する顧客会社コード101を顧客担当者テーブル73の顧客会社コード101に格納する。

【0079】次に、ソフトウェア管理部1のライセンスキー発行手段19が、ライセンスキーの発行を行い、ライセンス管理テーブル71内ライセンスキー8Aに格納すると同時に、顧客端末4にライセンスキーの送信を行う(s11)。この後、顧客は顧客端末から「グループウェア△△」を起動し、例えば図12(g)に示すような画面にて、ライセンスキーの設定を行う(s12)。ライセンスキーが設定されると、顧客業務遂行部2内グループウェア△△は、ソフトウェア管理部1に、設定された許可コード及びライセンスキーを通知し、確認要求をする(s13)。確認要求された許可コード及びライセンスキーは、照合手段13により、該当する顧客Aのライセンステーブル71に格納されている許可コード89及びライセンスキー8Aとの照合を行う(s14)。この場合、許可コード89が「0」であり、かつライセンスキー8Aの照合が合致している為、使用OKである旨をグループウェア△△に通知する(s15)。

【0080】ソフトウェア管理部1の試用期間監視手段1Aは、監視を終了し(s16)、インターネット5を介して顧客端末4に入金依頼通知手段17により、請求書を発行し送付する(s17)。この後ソフトウェア管理部1の入金確認手段18が一定期間、例えば、インストール完了日から120日経過しても顧客Aからの支払がない場合もしくは、試用期間経過後30日経過しても顧客Aからの支払いがないことを確認すると(s18)、その旨、顧客端末4に通知し、ライセンス管理テーブル71の許可コード89「0」(意味：使用OK)を、「1」(意味：使用NG)に更新する(s19)。

【0081】次に顧客が、グループウェア△△を起動すると(s20)、顧客業務遂行部2内グループウェア△△は、ソフトウェア管理部1に、許可コード89及びライセンスキー8Aの確認要求をする(s21)。確認要求された許可コード89及びライセンスキー8Aは照合手段13により、該当する顧客Aのライセンステーブル71に格納されている許可コード89及びライセンスキー8Aとの照合を行う(s22)。この場合、許可コードが「1」であるため、使用NGである旨をグループウェア△△に通知する(s23)。

【0082】許可コード89及びライセンスキー8Aによる使用可否判断の詳細は、図17のフローチャートに示すとおりである。すなわち、インストール完了時にライセンス管理テーブル内許可コード89を「0」(意味：使用OK)に設定し、購入要求後にライセンスキー8Aを発行し、顧客からの支払いがなかった場合に、許可コード89を「1」(意味：使用NG)と更新する。まず許可コード89の正当性を判断し(s1)、許可コード89がNGであれば、使用拒絶とし(s2)、許可

コード89がOKであれば、次にライセンスキー8Aの正当性を判断する(s3)。ライセンスキー8Aが正しい場合は、使用許可となる(s4)。この際ライセンスキー8Aが正しくない場合は、無償試用期間であるか否かを判断する(s5)。無償試用期間内であれば、使用許可となり(s4)、無償試用期間経過後であれば、使用拒絶となる(s2)。このようにすることにより、インターネットを介したソフトウェアの販売システムにおいて、支払いの滞っている顧客に対し、使用拒絶を容易に行なうことが可能となる。

【0083】なお、本実施の形態では、ソフトウェア管理部1及び顧客業務遂行部2、ソフトウェア保管部3、顧客端末4が単数存在する形で説明したが、図19に示すように、顧客業務遂行部2及びその顧客業務遂行部2にて業務を行う顧客端末4がさらに複数存在し、単数のソフトウェア管理部1にて管理する構成も実現可能である。

【0084】また、本実施の形態では、顧客が購入可能なソフトウェアの表示から、ソフトウェアを選択する形で説明したが、顧客が自ら購入したいソフトウェア名が判明している場合には、直接ソフトウェア名を指定しても構わない。更に、顧客が購入したいソフトウェアの条件を指定し、その条件に該当するソフトウェアを表示しその中から選択するように構成しても構わない。

【0085】

【発明の効果】本発明によると、顧客は顧客端末からインターネット等を介して、ソフトウェアのライセンスを購入し、かつ、遠隔地にあるサーバーの特定領域に、ソフトウェアのインストールをすることができるという大きな効果がある。

【0086】更に、本発明をホスティングサービスにおいて運用することにより、小事業者がインターネット等を介して最新のソフトウェアのライセンスを購入し、割り当てられた領域に自動インストールをすることができる為、例えばグループウェアなどのインストールを行えば、常時携帯電話などから自社の情報を共有できる環境を容易に構築できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の構成を示す図。

【図2】本発明の一実施例の構成を示す図。

【図3】本発明の一実施例の構成を示す図。

【図4】本発明の一実施例の構成を示す図。

【図5】本発明の一実施例の構成を示す図。

【図6】本発明の一実施例の構成を示す図。

【図7】顧客情報データベースのテーブル関係図。

【図8】ライセンス管理テーブルの構成図。

【図9】契約管理テーブルの構成図。

【図10】顧客担当者テーブルの構成図。

【図11】顧客会社テーブルの構成図。

【図12】画面表示例。

【図13】フローチャート。

【図14】フローチャート。

【図15】フローチャート。

【図16】フローチャート。

【図17】フローチャート。

【図18】フローチャート。

【図19】本発明の一実施例の構成を示す図。

【符号の説明】

- 1・・・ソフトウェア管理部
- 11・・・要求受付手段
- 12・・・顧客情報管理手段
- 13・・・照会手段
- 14・・・ソフトウェア表示手段
- 15・・・インストール指示手段
- 16・・・アンインストール指示手段
- 17・・・入金依頼通知手段
- 18・・・入金確認手段
- 19・・・ライセンスキー発行手段
- 1A・・・試用期間監視手段
- 1B・・・使用禁止手段
- 1C・・・情報通知手段
- 2・・・顧客業務遂行部
- 21・・・ハードウェア資源
- 22・・・ソフトウェア受取り手段
- 23・・・インストール手段
- 24・・・アンインストール手段
- 3・・・ソフトウェア保管部
- 31・・・ソフトウェア群
- 32・・・ソフトウェア抽出手段
- 33・・・ソフトウェア送付手段
- 301～303・・・ソフトウェア保管サーバー
- 4・・・顧客端末
- 41・・・ソフトウェア選択手段
- 42・・・インストール要求手段
- 43・・・アンインストール要求手段
- 44・・・購入要求手段
- 45・・・支払い手段
- 5・・・インターネット
- 6・・・銀行
- 71・・・ライセンス管理テーブル
- 72・・・契約管理テーブル
- 73・・・顧客担当者テーブル
- 74・・・顧客会社テーブル

The diagram illustrates a network system architecture. At the center is an oval labeled "インターネット" (Internet). Six components are connected to this central hub:

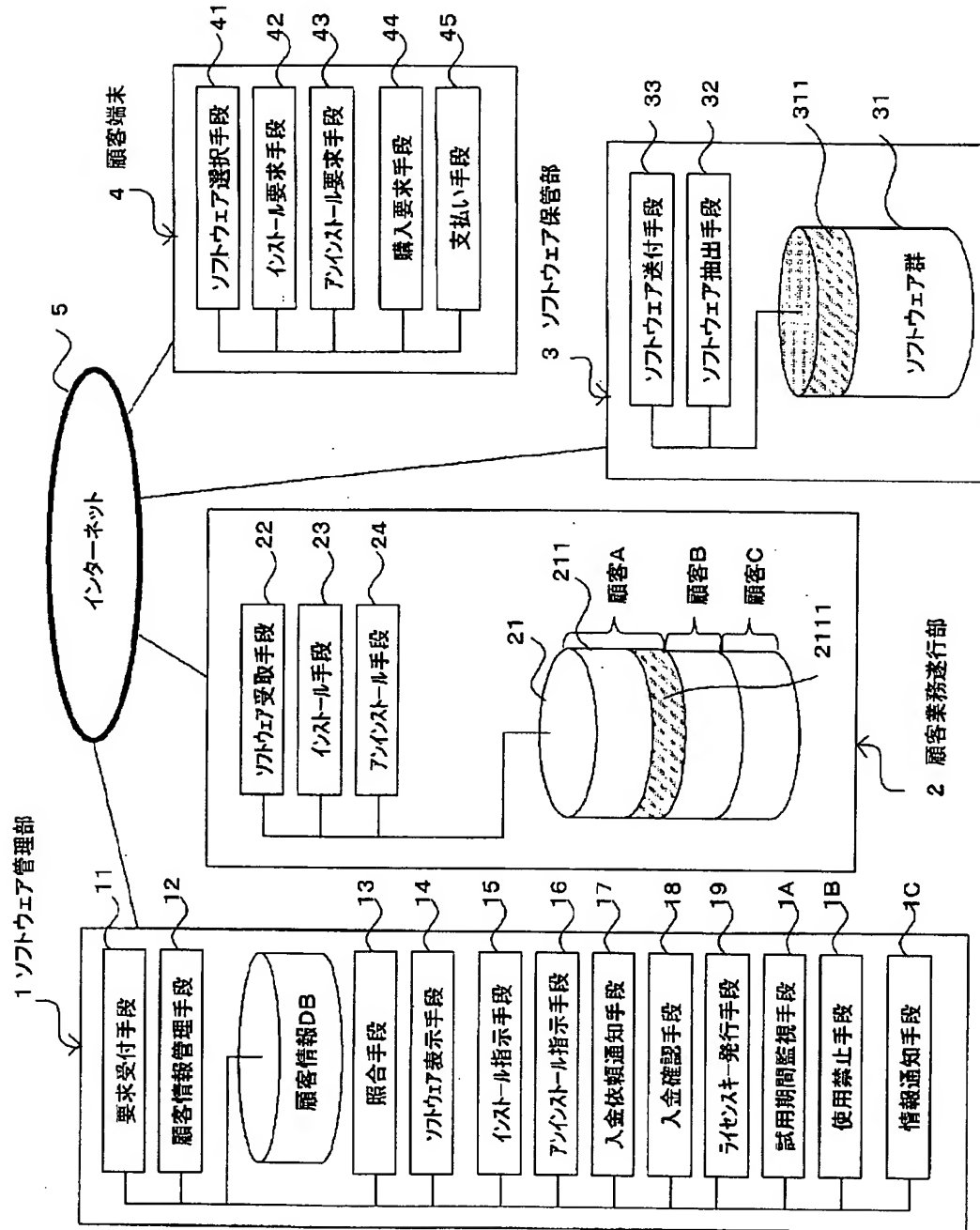
- 1** ソフトウェア管理部 (Software Management Department): Connected to the left of the Internet hub.
- 2** 顧客業務遂行部 (Customer Business Execution Department): Connected to the bottom-left of the Internet hub.
- 3** ソフトウェア保管部 (Software Storage Department): Connected to the bottom of the Internet hub.
- 4** 顧客端末 (Customer Terminal): Connected to the bottom-right of the Internet hub. This is represented by a computer monitor and mouse.
- 4** 顧客端末 (Customer Terminal): Connected to the top-right of the Internet hub. This is represented by a mobile phone.
- 5** 銀行 (Bank): Connected to the top of the Internet hub.

Each component is represented by a rectangular box, except for the customer terminals which are represented by icons of a mobile phone and a desktop computer. The numbers 1 through 5 are placed near the boxes, and the number 4 is placed near the terminal icons.

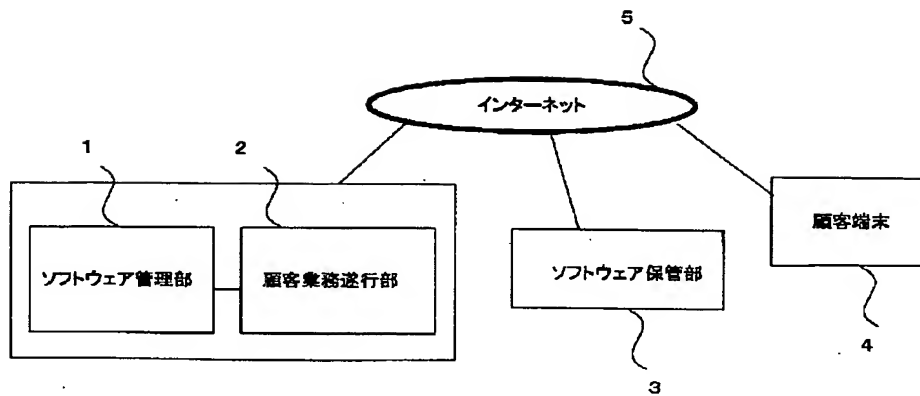
Figure 1 is a block diagram of a software distribution system. It includes a 'ソフトウェア管理部' (Software Management Department) box, an 'インターネット' (Internet) oval, a '顧客集務送行部' (Customer Service Distribution Department) box, and a central processing box. The central box contains an 'インストール手段' (Installation Method) block (23), an 'アンインストール手段' (Uninstallation Method) block (24), a database cylinder (21) with three horizontal sections labeled '顧客A' (Customer A), '顧客B' (Customer B), and '顧客C' (Customer C), and a 'ソフトウェア群' (Software Group) cylinder (31). Arrows indicate data flow between these components and the Internet.

[illegible]

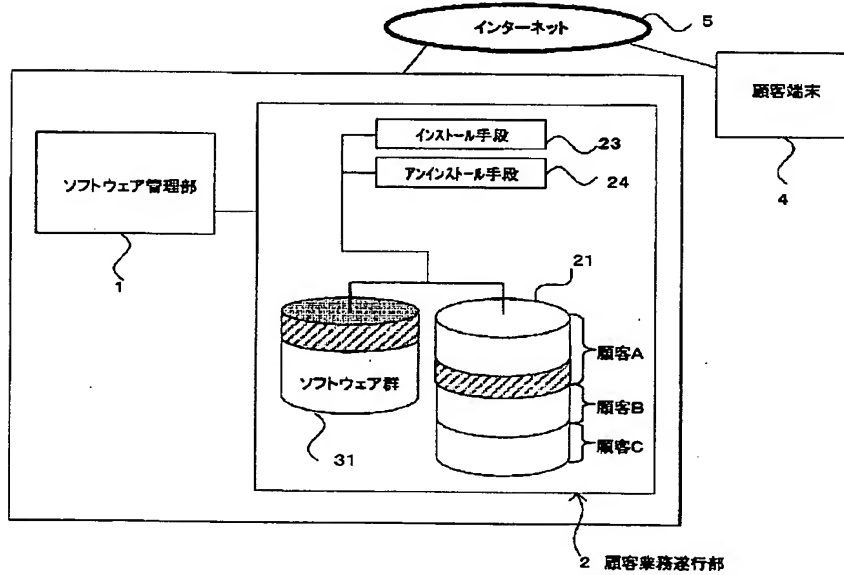
【図2】



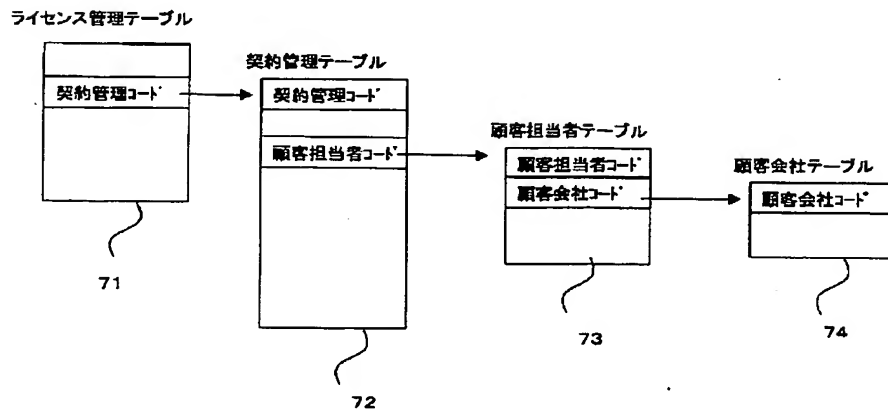
【図4】



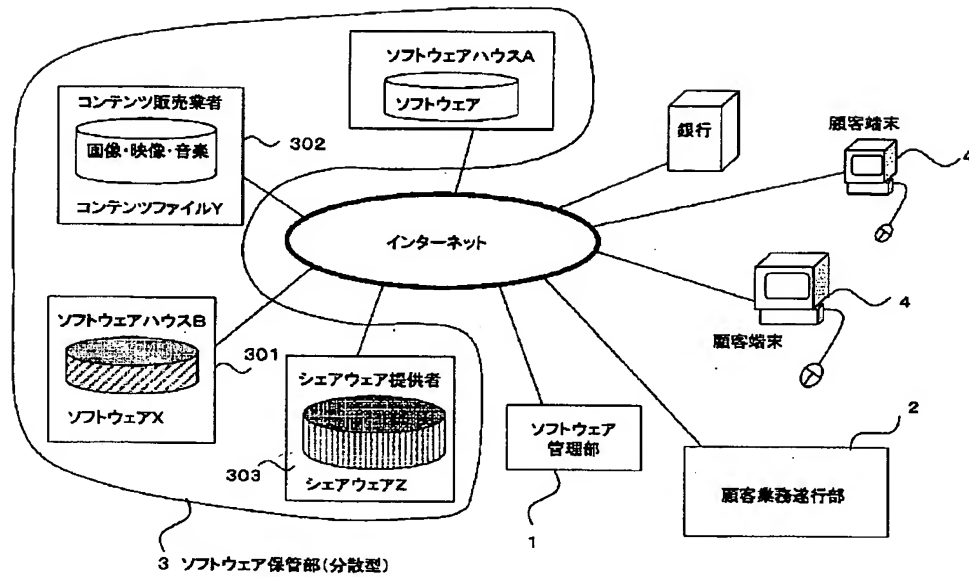
【図5】



【図7】



【図6】



【図9】

72 契約管理テーブル

契約管理 コード	受付日	顧客担当 者コード	支払い方法	支払い管理 システムキー
K0001	2000-8-1	T0001	E	1
K0002	2000-9-25	T0002	C	1
K0003	2000-10-1	T0003	P	0
:	:	:	:	:

【図10】

73 顧客担当者テーブル

顧客担当者 コード	顧客 会社 コード	部署	担当	TEL	FAX	E-MAIL
T0001	C0001	営業部	鈴木	03-1234-5678	03-1234-5679	1234@1234.co.jp
T0002	C0002	—	加藤	044-123-4567	044-123-4567	5678@5678.ne.jp
T0003	C0001	企画部	山田	03-1234-8765	03-1234-8766	0987@1234.co.jp
:	:	:	:	:	:	:

【図11】

74 顧客会社テーブル
101

顧客会社 コード	会社名	〒番号	住所(県・市)	住所(区・番地)
C0001	株式会社〇×	100-0001	東京都	千代田区〇〇1-1-1
C0002	—	200-0001	神奈川県	川崎市××1-2-3
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【図12】

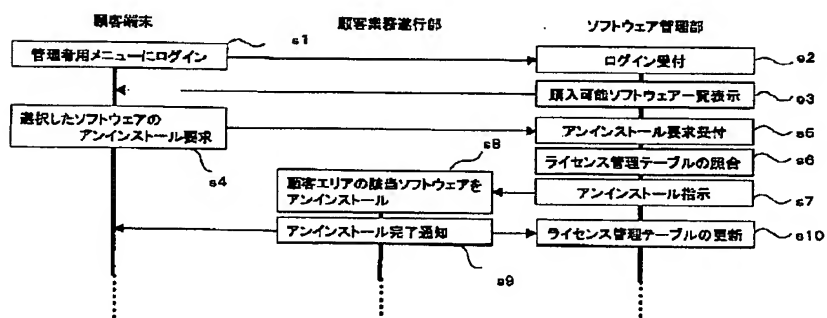
(a) ログイン画面表示例

ADMIN MANAGER ログイン画面

ログイン:

パスワード:

【図15】



(b) TOP画面表示例

ADMIN MANAGERメニュー画面	
<p>弊社がご用意しているアプリケーションソフトを購入・インストールできます。必要なアプリケーションソフト名を選択して下さい。</p> <p>アプリケーションソフト一覧:</p> <p><u>ワープロソフトOO</u></p> <p><u>表計算ソフト××</u></p> <p><u>グループウェア△△</u></p> <p><u>メールソフト</u></p> <p><u>スケジュールソフト</u></p> <p><u>データベースソフトウェア</u></p> <p><u>CADソフト</u></p> <p><u>HTML作成ソフト</u></p> <p>:</p> <p>:</p> <p>:</p>	

(c) アプリケーションソフト設定画面表示例

ADMIN MANAGERメニュー画面	
<p>弊社がご用意しているアプリケーションソフトを購入・インストールできます。必要なアプリケーションソフト名を選択して下さい。</p> <p>アプリケーションソフト一覧:</p> <p><u>ワープロソフトOO</u></p> <p><u>表計算ソフト××</u></p> <p><u>グループウェア△△</u></p> <p><u>メールソフト</u></p> <p><u>スケジュールソフト</u></p> <p><u>データベースソフトウェア</u></p> <p><u>CADソフト</u></p> <p><u>HTML作成ソフト</u></p> <p>:</p> <p>:</p> <p>:</p>	<p>グループウェア△△の設定</p> <p>商品紹介:</p> <p>価格紹介:円</p> <p>製造元: ソフトウェアハウスA</p> <p>インストール インストールします。 ××日間の無償試用が可能です。</p> <p>ご購入手続き ライセンスをご購入いただくことにより、試用期間を解除し、本運用していただけます。</p> <p>アンインストール アンインストールします。</p> <p>サーバ移動手続き ご購入いただいたライセンスは他のサーバでご利用いただくことが可能です。</p>

(d) インストール画面表示例

ADMIN MANAGERメニュー画面	
グループウェア△△のインストール	
<p>インストールします。 60日間の無償試用が可能です。下記項目に必要な事項をインプットしてください。</p>	
管理運営	2000-000×
OS/機種	
IPアドレス	
ディレクトリ	
<div style="text-align: right;"> <input type="button" value="インストールOK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div>	

(e) 購入手続き画面表示例

ADMIN MANAGERメニュー画面	
グループウェア△△の購入手続き	
<p>ライセンスをご購入いただくことにより、試用期間を解除し、本運用していただけます。</p>	
管理運営	2000-000×
会社名	
部署	
担当者名	
電話番号	
FAX	
E-mailアドレス	
FAX	
住所	
支払い方法	1. 電子商取引 2. クレジットカード 3. 請求書払い
<div style="text-align: right;"> <input type="button" value="購入OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </div>	

(f) アンインストール画面表示例

ADMIN MANAGERメニュー画面

グループウェア△△のアンインストール

アンインストールします。
試用期間に作成されたデータは全て削除されます。

管理番号	2000-000x
OS/機種	Linux00
IPアドレス	1234.56.78.902
ディレクトリ	Programfiles

アンインストールOK

キャンセル

(g) グループウェア△△の起動画面表示例

グループウェア△△

試用期間は残すところあと**10日**です。
ADMINメニューから購入手続きをしていただくと、ライセンスキーが通知されます。
ライセンスキーを以下のインプットボックスにインプットしていただくと、本運用が可能となります。

あなたのライセンスキー:

通知のライセンスキーをout&paste
して下さい。

OK

キャンセル

(h) グループウェア△△の起動画面表示例

グループウェア△△

試用期間は経過しました。
ADMINメニューから購入手続きをしていただくと、ライセンスキーが通知されます。
ライセンスキーを以下のインプットボックスにインプットしていただくと、本運用が可能となります。

あなたのライセンスキー:

通知のライセンスキーをout & paste
して下さい。

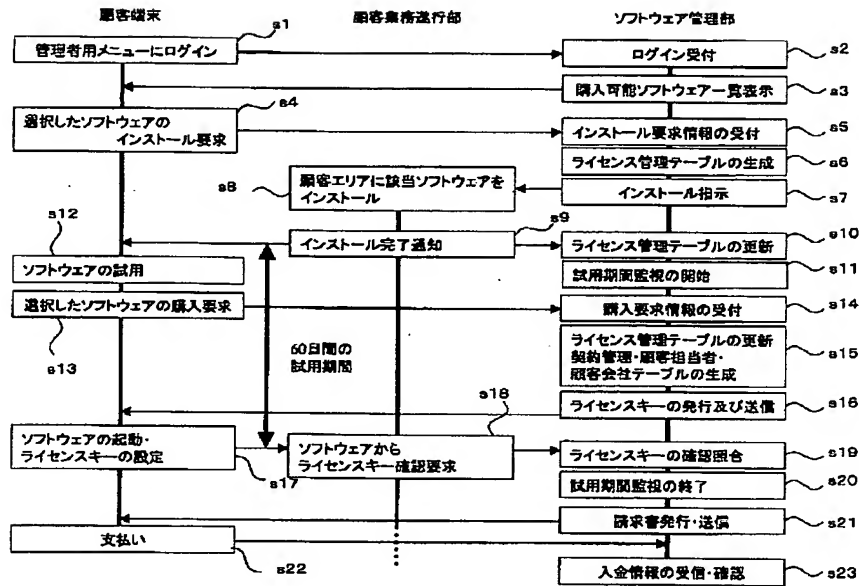
(i) 情報通知画面表示例

お客様の購入された「グループウェア△△」は2.1にバージョンアップされました。
バージョンアップが必要な場合は、ADMIN MANAGERメニューからインストールボタンを選択してください。

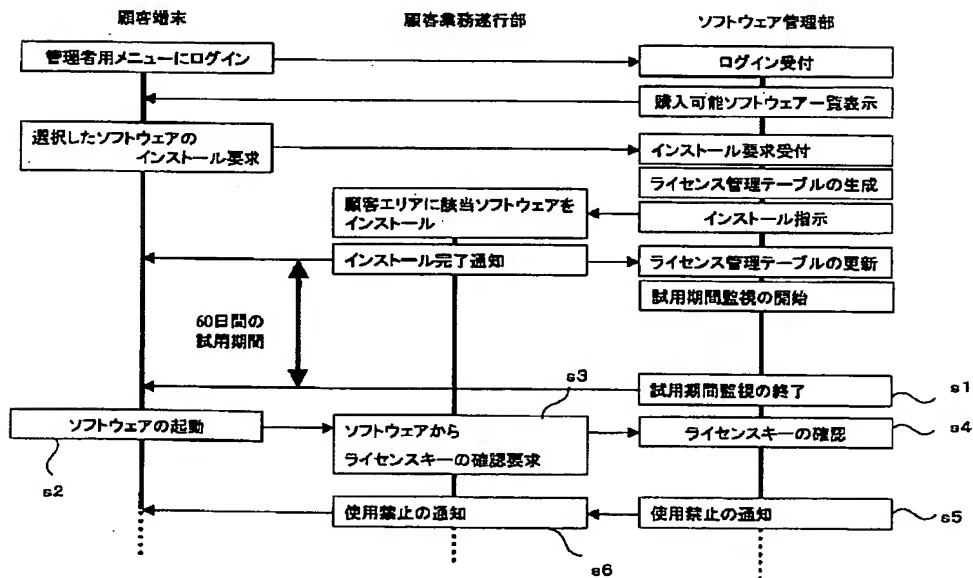
お客様に以前ご試用いただきました「表計算ソフト××」は、バージョンアップされ、
○○○機能の追加がされています。
再度ご試用いただく場合は、ADMIN MANAGERメニューからインストールボタンを選択してください。

お客様に以前ご試用いただきました「表計算ソフト××」に類似するソフトウェアとして、「□□□」、「表計算ソフト▼▼▼」がご購入可能です。
ご試用いただく場合は、ADMIN MANAGERメニューからインストールボタンを選択してください。

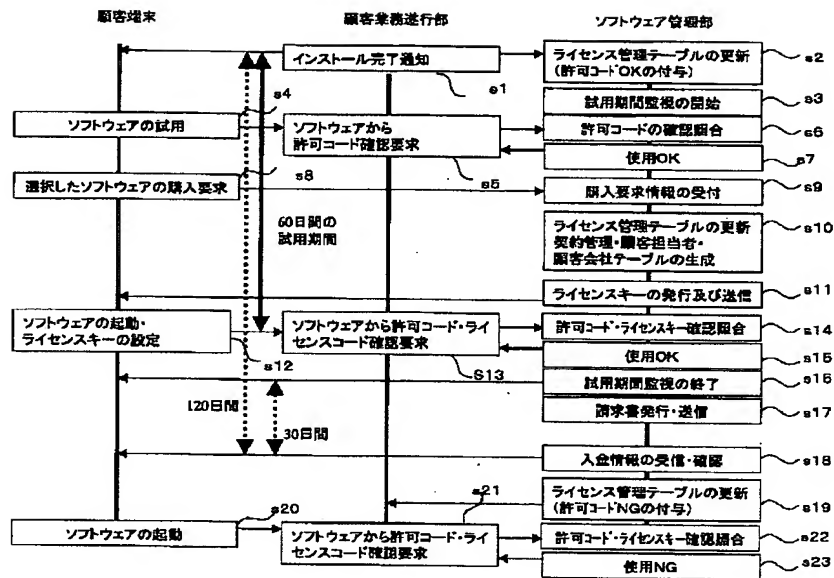
【図13】



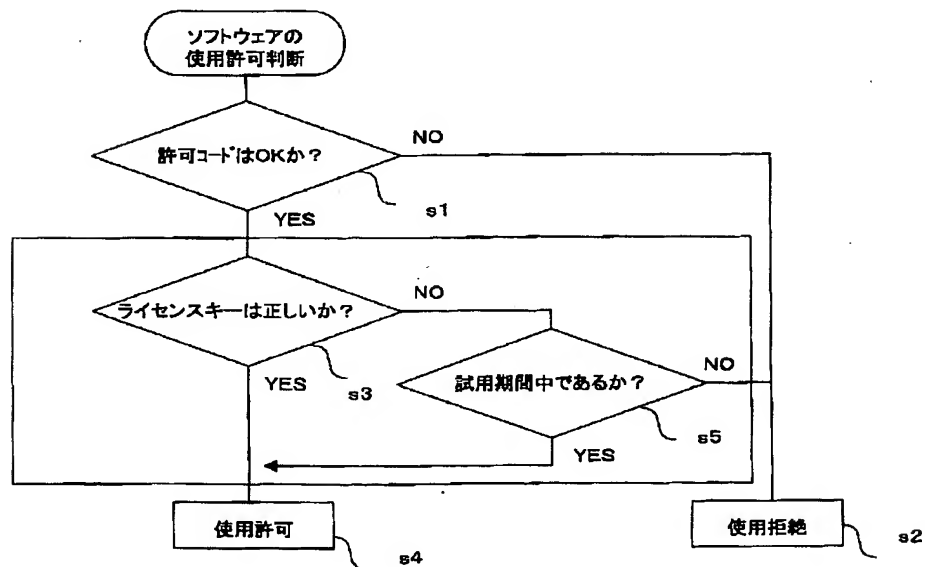
【図14】



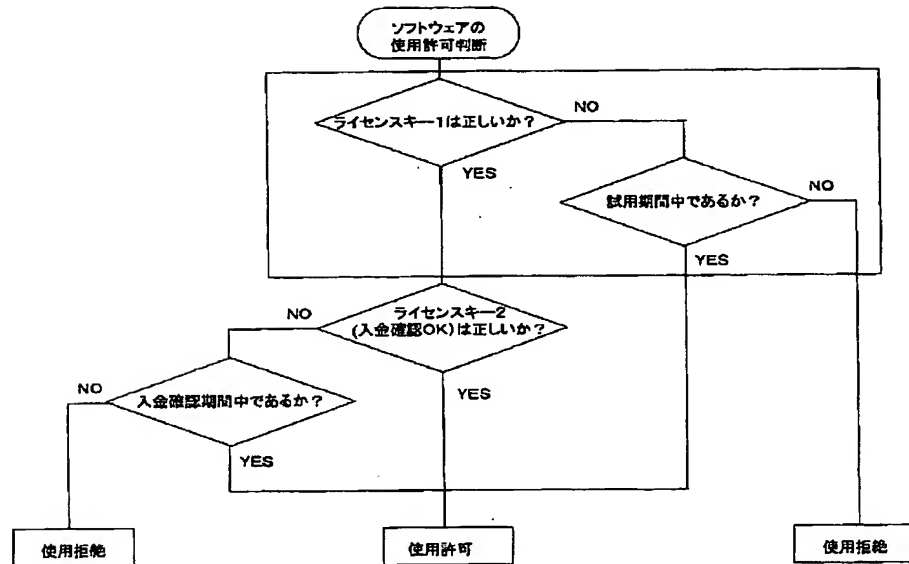
【図16】



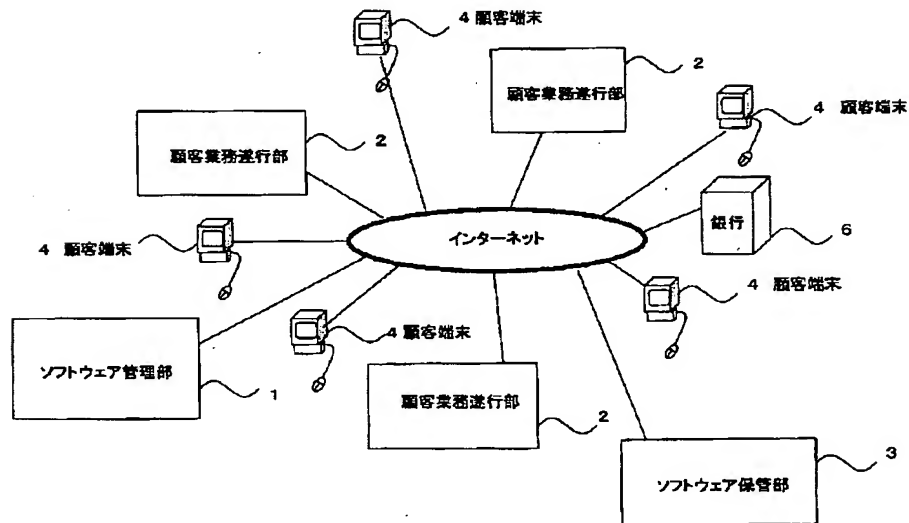
【図17】



【図18】



【図19】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

G 0 6 F 1/00

13/00

識別記号

5 3 0

F I

G 0 6 F 9/06

テマコード (参考)

6 1 0 L

6 1 0 M

6 5 0 A

6 6 0 C

(72) 発明者 内田 科生

神奈川県川崎市幸区堀川町66番2 東芝エ
ンジニアリング株式会社内

(72) 発明者 石内 昭彦

神奈川県川崎市幸区堀川町66番2 東芝エ
ンジニアリング株式会社内

F ターム(参考) 5B049 BB00 CC00 CC08 FF01 GG02
5B076 AA02 AB17 BB02 BB06 FB05
FC10